

最近の昇降機設備の施工例

野嶋和彦*
藤田 薫*

Latest Supply Record of Mitsubishi Elevator and Escalator

Kazuhiko Nojima, Kaoru Fujita

要 旨

東京・大阪を中心に幾つかの大口再開発物件が竣工(しゅんこう)し、新たな空の玄関として中部国際空港が開港した。このような中、昇降機は、縦の輸送機関としてだけでなく、物件のコンセプトに合わせたデザイン、機能が今まで以上に求められるようになってきた。ここでは、最近竣工したモニュメンタルな5地区の物件を取り上げて述べる。

JR大阪駅南西側の“第二吉本ビルディング(ヒルトンプラザ・ウエスト)”は、ガラス扉のシースルーエレベーターやグラフィックパネルを使った行き先階予約システムにより先進的なビルを演出している。第二吉本ビルディングに隣接する“梅田阪神第2ビルディング(愛称：ハービスENT)”は、色分けされた行き先予約システムにより群管理性能を向上させ、より分かりやすく早く目的階に到着できるようにした。

“中部国際空港”では、かごサイズ、機器、エスカレーターなど様々な部分でユニバーサルデザイン化を行っている。

JR東京駅前の丸の内と大手町をつなぐエリアにできた複合施設“丸の内オアゾ”は、店舗棟エレベーターのガラスの吊(つり)天井や導光板を使用した店内案内板が特徴的なほか、エスカレーターでは側面下部に青色の光ファイバを設置し、デザイン性を高めながら、特殊形状の進入防止板を設置することで安全性を高めている。“丸ノ内ホテル”では、かご内照明と外装照明を同時に調光させている。“丸の内北口ビル”では、白色を基調としたデザインのほか、ボタンは大型の白色LED(Light Emitting Diode)式タッチボタンを乗り場・かごに採用している。

“オービック本社ビル”は、白色LEDによるホールランタンを採用したほか、エレベーターホール及びかご内にはインフォメーションディスプレイを搭載している。



第二吉本ビルディング
(ヒルトンプラザ・ウエスト)



梅田阪神第2ビルディング
(愛称：ハービスENT)



丸の内オアゾ



中部国際空港



オービック本社ビル

最近竣工した代表的な昇降機納入事例